

Y7-12

時代が求める総合診療専門医 —兵庫赤十字総合医プログラムから考える—

柏原赤十字病院 総合診療科

○かたやま さとる片山 寛

【はじめに】北は日本海に面し、南は瀬戸内海から淡路島を介して太平洋へと続いている兵庫県は、大都市から農山村、離島まで、さまざまな地域で構成されており、その多様な気候と風土から、「日本の縮図」といわれている。県内の赤十字病院は、都市部にある神戸、姫路と、農山村部にある多可、柏原の4つがある。地域背景と医療機能が異なる4つの赤十字病院が連携して、兵庫赤十字総合医プログラム（以下本プログラム）を作成し、日本プライマリケア連合学会（以下PC学会）の改訂家庭医療後期研修プログラム（以下Ver2プログラム）の認定を受け専攻医を募集している。PC学会のVer 2プログラムは、家庭医療後期研修プログラム（Ver 1プログラム）が家庭医療専門医のプログラムであったのに対して、新専門医制度での総合診療専門医（以下GP専門医）のプログラム要件となるようにPC学会が作成したものであり、新専門医制度での総合診療専門医プログラムが求める要件は、ほぼ同じ内容となる方向で作業が進んでいる。8月頃までに日本専門医機構で総合診療専門医プログラム要件が決定されたのちに、アンケート調査を行い、総会ではその結果を共有して意見交換を実施する。

【方法】総合診療専門医プログラム要件発表ののち、赤十字社各医療施設の医師を中心に、無記名でのWebアンケート調査を行う。

【結果・考察】総会にて発表する。

10
月
17
日
演
題
(金)